取扱説明書

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

DAYTONA corp.

S74670①/⑧

メガオイルポンプ	適応車種	商品NO.
	別記	74670

■ご使用前に必ずご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
火気厳禁	表記の禁止行為を告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。		

⚠警告

禁止

- 締め切ったガレージ内部や通気の悪い場所で長時間エンジンをかけないでください。一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- ガソリンは非常に引火しやすいため、作業場所は一切の火気をさけてください。また、蒸発（気化）したガソリンは爆発の危険もあるので、通気の良い場所で作業を行ってください。
- この商品に、不用意に曲げ・切削・溶接等の加工を行った場合、重大な事故につながる恐れがあります。商品には指定以外の加工を施さないでください。
- この商品は、記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。
- 不用意に分解した場合、オイルポンプシャフトがスムーズに回らなくなることがあります。その状態でエンジンに組み込むと、エンジンに重大な損傷を及ぼす可能性があります。
- このオイルポンプは分解禁止です。分解されたオイルポンプによる不具合については、デイトナは一切の責を負いません。

2012/10/22

実施

- 作業は、車両を安定して支えられるスタンド等を用意して安全を確保したうえで行ってください。
- 商品を取り付ける際、使用する純正部品および車両各部に欠損・損傷がみられた場合はその部品の再使用を避け、新しい部品に交換してください。そのままご使用になられますと、重大な事故につながる恐れがあります。

その他

- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。

⚠注意

実施

- この商品の取り付けには別途ホンダ純正のサービスマニュアルをご用意していただき、確実な作業を行ってください。また、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。適切な工具の準備が不十分であったり、または取り付け経験が無かったりする場合は、技術や経験を有したショップへ作業を依頼されることをお勧めいたします。
- 本説明書に記載されていない内容については、ホンダ純正のサービスマニュアルに従って作業を行ってください。
- 作業を行う際は、必ずエンジンやマフラーが冷えている状態で行ってください。熱い状態で作業を行うと、火傷を負う原因となります。
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意してから作業を行ってください。不適切な工具で作業を行うと、部品を破損したりケガをしたりする可能性があります。
- ボルト・ナット類の締め付けはトルクレンチを使用して、必ずそれぞれのサイズに合った規定の締め付けトルクで締め付けてください。
- 取り付け後約１００ｋm走行しましたら各部を点検し、ネジの増し締め確認をおこなってください。その後は約５００ｋm毎に必ず点検を行ってください。
- 部品や車両には、エッジや突起がある場合があります。作業は手を保護して行ってください。
- クランクケース下部にあるストレーナ（金網）のチェックとメンテナンスは定期的に行ってください。

法令違反

- 一般公道では、道路交通法に則した制限速度に準じた運行を行ってください。一般公道を制限速度を超える速度で走行した場合、ライダー自身が道路交通法（速度超過）によって罰せられます。

その他

- この商品あるいはこの商品を取り付けたオートバイを第三者へ譲渡する場合には、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。
- 補修部品をお求めの際などに必要になりますので、この取扱説明書は大切に保管してください。
- この商品は、予告なしに価格や仕様の変更をする場合があります。また、本文中に紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。
- ご本人以外が取り付けを行う場合、取り付けをされる方（販売店も含む）は、取り付け完了後各部の緩み、不具合等点検後、正常な作動の確認と危険箇所（バリ、突起物）無きことを確認のうえ、注意事項を説明しこの取扱説明書も必ず一緒にお客様へお渡しください。
- **レース等、競技目的の使用は自己責任にて、保証の対象外であることをご了承のうえ使用してください。**

□　本商品の特徴　□

- モンキー系 12V エンジン用の大容量オイルポンプです。
- オイルポンプ容量（トロコイドロータ厚み）が、12V 純正オイルポンプに対して約 2.3 倍、６Ｖ比で 3.7 倍です。
- 排気量アップやオイルクーラー装着などにも対応できる大容量です。

□　商品内容　□

NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量
①	オイルポンプ ASSY		1	③	六角穴付ボタンボルト	M6x25	1
②	ガスケット		1	④	六角穴付ボタンボルト	M6x15	2

□　適合車種　□

適合車種	型式	フレームナンバー
モンキー/ゴリラ（12V）	Z50JN/P/S/T/V/W/X/Y	Ｚ50Ｊ-2000001～
	Z50J1/2/4/5	ＡＢ27-1000001～
モンキーR モンキーＲＴ	Z50JRH Z50JRJ-2	ＡＢ22-1000017～ ＡＢ22-1007601～
モンキーバハ	Z50JM/N/P	Ｚ50Ｊ-1700001～
JAZZ	CA50G/J/N/P/S/H2/J2/LG	AC09-1000030～
マグナ 50	MG50S/X/1/2/3/4	AC13-1000010～
ベンリー50S	CD50ST	CD50-2200005～
ベンリーCL50	CL50V	CD50-4000001～
CD50	CD50E/F/H/N/P/S	CD50-1500001～

- 遠心クラッチの車両はクラッチのストロークが足りなくなるため、取付けできません。マニュアルクラッチのみ適合します。
- 12V の車両のみ適合です。６Ｖ車のクランクケースはオイル通路が異なりますので適合しません。

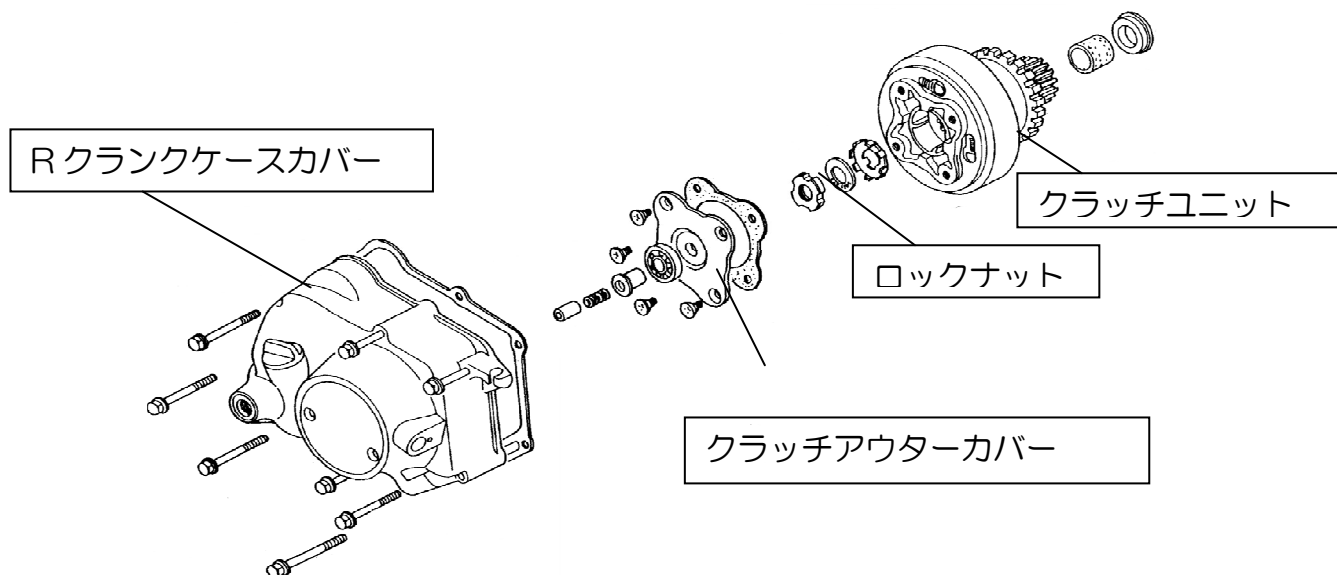
□　取付方法　□

取り付け前に、商品の内容をご確認ください。
エンジンおよびマフラーが冷えていることを確認して作業を開始してください。
詳細についてはホンダ純正サービスマニュアルを用意し、参照のうえ作業を行ってください。

クランクケースのエンジンオイル通路オリフィスを拡大加工する場合は、シリンダーヘッドおよびシリンダーの取り外しが必要になります。その場合、エンジン脱着が必要になります。
本説明書ではステップやマフラーの取り外し等のエンジン脱着手順については明記いたしません。ホンダ純正サービスマニュアルおよびご使用パーツの取扱説明書を参照してください。
また、エンジンオイルは事前に抜き取ってください。

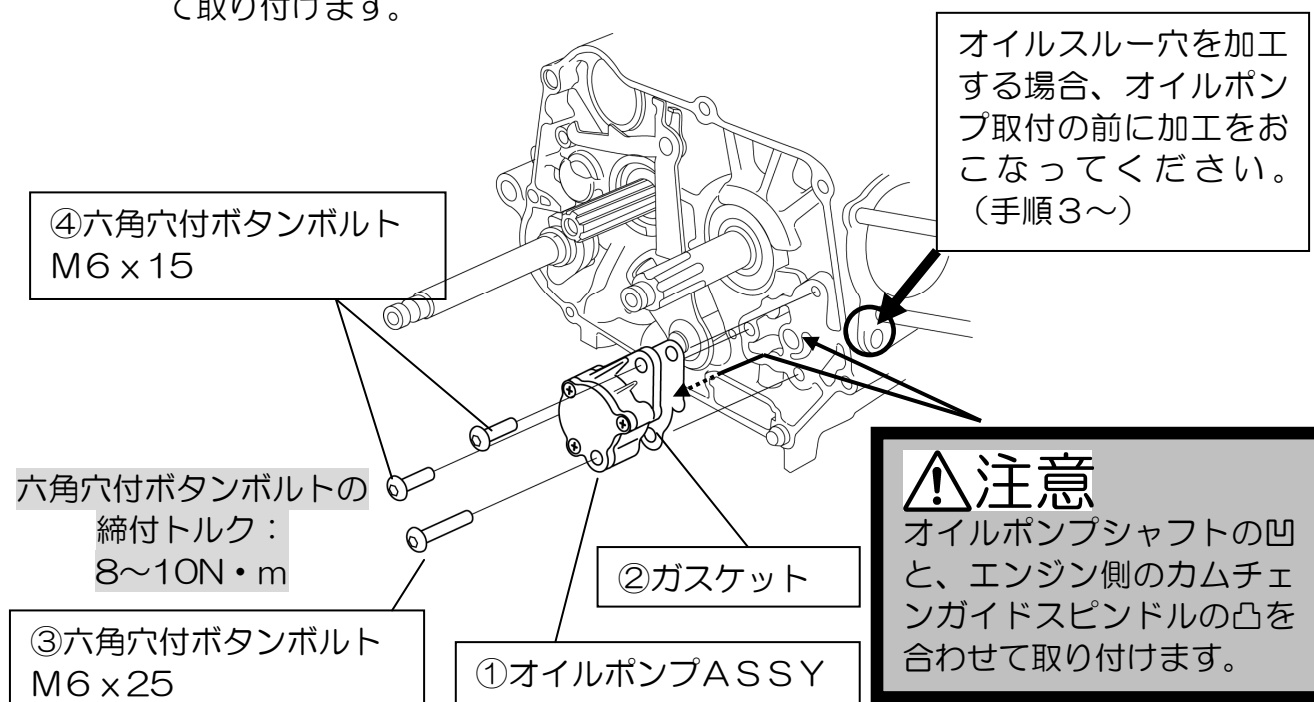
1　クラッチの取り外し

※手順は純正クラッチもしくは１次側強化クラッチ仕様のエンジンとして説明しています。詳細については純正サービスマニュアルか、ご使用のクラッチキットの取り扱い説明書の手順をご確認ください。

1-1. キックペダルを取り外します。
1-2. R クランクケースカバー（クラッチカバー）を固定している M6 ボルトを全て取り外し、R クランクケースカバーを取り外します。
1-3. R ケースカバーガスケットとノックピンを取り外します。
1-4. クラッチアウターカバーを固定している皿ボルト４本を緩め、クラッチアウターカバーを取り外します。皿ボルトは非常に舐めやすいので、十分に注意してください。
1-5. クラッチの中心のあるロックナットを緩めて取り外します。
1-6. クラッチユニットをクランクシャフトから抜き取ります。

2 オイルポンプの交換

※クランクケースのオイルスルー穴拡大加工をする場合は、手順３を参照に加工をおこなった後、切削屑を完全に取り除いてからオイルポンプを交換してください。

2-1 パンスクリュー（M6／３本）を緩めてオイルポンプＡＳＳＹを取り外します。

2-2 ①オイルポンプＡＳＳＹ、②ガスケットを、③④の六角穴付ボタンボルトを使用して取り付けます。

3 クランクケースオリフィス穴の拡大加工

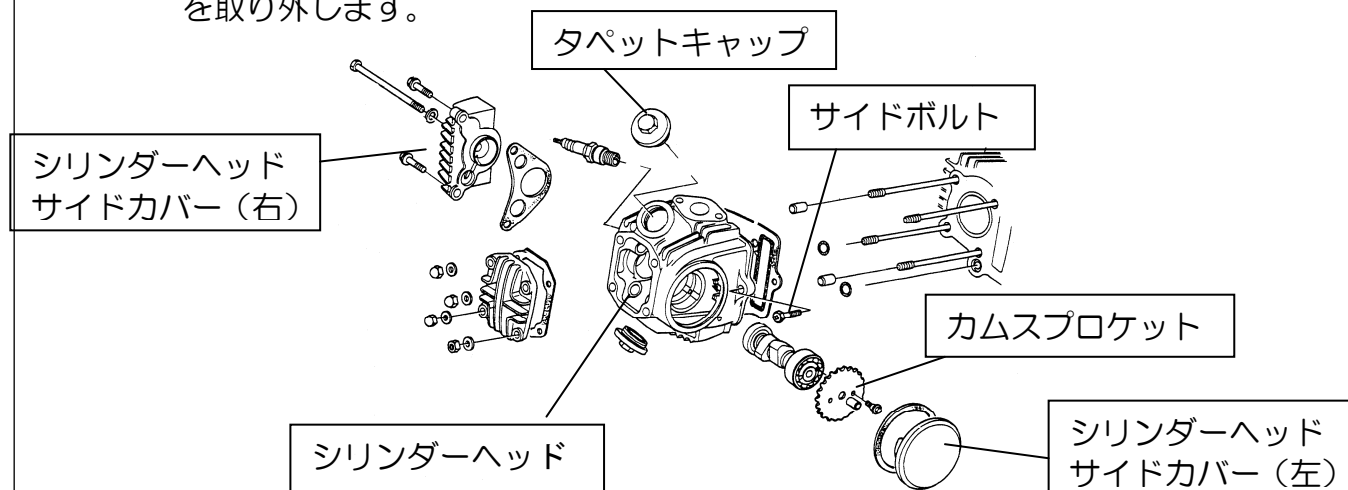
- ✧ シリンダーの分解、組み立て詳細については純正サービスマニュアルか、装着されているビッグボアキットの取扱説明書の手順をご確認ください。
- ✧ すでにオイルスルー穴を加工済みのクランクケースに取り付ける際には、この手順が必要ありません。手順４へ進みます。

3-1. シリンダーヘッドサイドカバー（右）を固定している長い M6ボルト ３ 本を緩め、シリンダーヘッドサイドカバーを左右とも取り外します。

3-2. タペットキャップ（IN/EX）２個を取り外します。

3-3. フライホイールを回して圧縮上死点を合わせます。

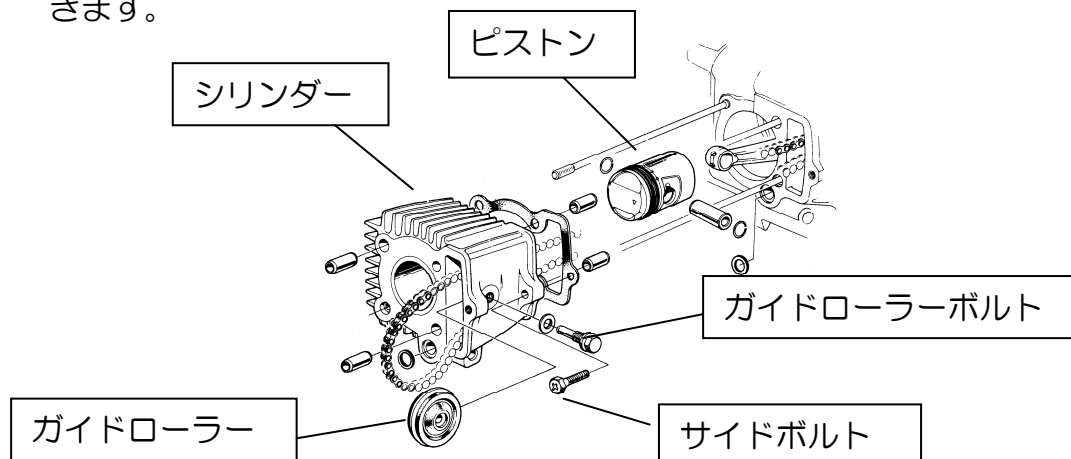
3-4. カムスプロケット固定ボルトを緩めて、カムスプロケットを取り外します。

3-5. シリンダーヘッドを固定しているナット（M6/４個）およびワッシャ（４枚）、シリンダーヘッドとシリンダーをつないでいるサイドボルトを緩め、シリンダーヘッドを取り外します。

3-6. シリンダー側面にあるカムチェーンガイドローラボルトを取り外し、カムチェーンガイドローラを取り外します。

3-7. シリンダーからヘッドガスケット、O リング、ノックピンを取り外します。

3-8. サイドボルトを取り外し、シリンダーを抜き取ります。

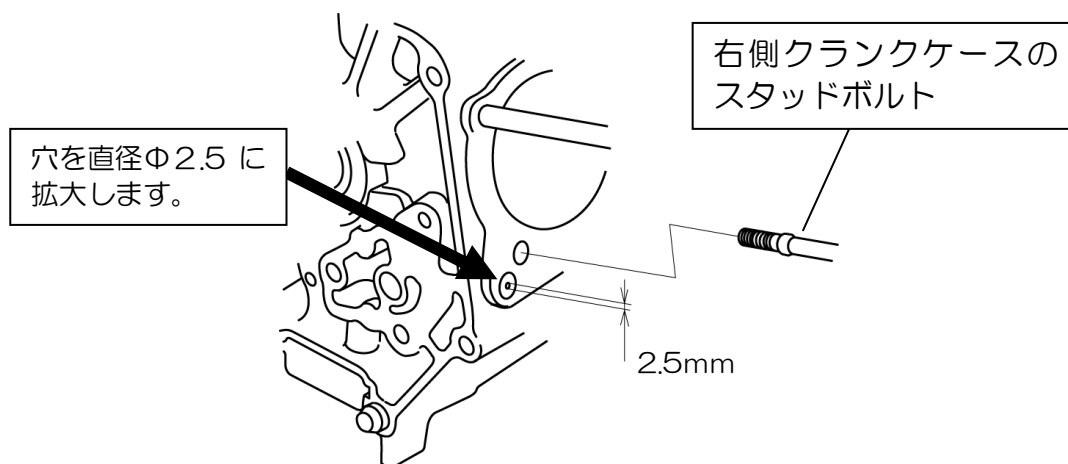
3-9. シリンダベースガスケット、O リングを取り外します。

3-10.切削屑が入らないように、ピストンおよびコンロッド周囲をウエス等で保護しておきます。

3-11 右側クランクケースのスタッドボルトのうち、下側のスタッドボルトを取り外します。

※スタッドボルト取り外しについては、スタッドボルトプーラーを使用するか、六角ナット２個を使用してナット同士を締め付け、その状態でスタッドボルトを緩めて取り外します。

3-12 右の図の位置にある穴を、電動ドリルを使用してΦ2.5 に拡大加工します。

※この商品にドリルは付属していません。

※切削屑がエンジン内部に侵入しないように、ウエスやガムテープで処理しておいてください。

⚠注意

加工が終わったら、切削屑を必ず完全に取り除いてください。切削屑が残っていますと、エンジントラブルの原因になります。

3-13 手順 3-11 で取り外したスタッドボルトを、元どおり取り付けます。

3-14　シリンダー、シリンダーヘッドを組み立てます。

✧ ガスケット類は別途ご用意ください。

✧ 一般的な取り付け手順を説明しますが、詳細は純正サービスマニュアルおよびお持ちのボアアップキットの取扱説明書を確認しながら、正しく組み立ててください。

3-15　新品のシリンダーガスケット、およびラバーパッキン（Oリング）、ノックピン２個をクランクケースに取り付けます。

3-16　ピストン、ピストンリング、シリンダー内面に４サイクルオイルを塗布します。

3-17　ピストンリングを指で押さえながらシリンダーを組み立てます。

3-18　カムチェーンとカムチェーンガイドローラを元どおり取り付けます。

3-19　新品のシリンダーヘッドガスケット、Oリング、ノックピン２個をシリンダーに取り付けます。

3-20　手順 3-5 で取り外したシリンダーヘッドをシリンダーに取り付けます。

⚠注意
シリンダーヘッド取り付けの際、インテークバルブおよびエキゾーストバルブが閉まった状態になっているか確認してください。

3-21　シリンダーヘッドカバーを取り付け、手順 3-5 で外したワッシャを配置し、ナットを規定トルクで締め付けます。

⚠注意
４枚のワッシャのうち１枚だけ銅ワッシャになっています。<u>銅ワッシャは、進行方向右下に入ります</u>。
銅ワッシャの配置を前違えると、オイル漏れの原因になります。正しい位置に配置してください。
４個のナットのうち１つだけ通常のナット、３個は袋ナットになっています。<u>通常のナットは、進行方向左下（銅ワッシャでない側）のネジに使用します</u>。
シリンダーヘッドの締め付けは一度に規定トルクで締めずに、対角になるように何度かに分けて徐々に締め付けます。

3-22 シリンダーとシリンダーヘッド、シリンダーとクランクケースをつないでいるサイドボルトをそれぞれ取り付けます。

3-23 フライホイールの外周にあるTマークとクランクケースの合マークを合わせて、ピストンを圧縮上死点の位置に合わせます。

3-24 カムスプロケットの表面にある○マークと、シリンダーヘッドの合マークが合うようにカムチェーンをカムスプロケットに取り付けます。

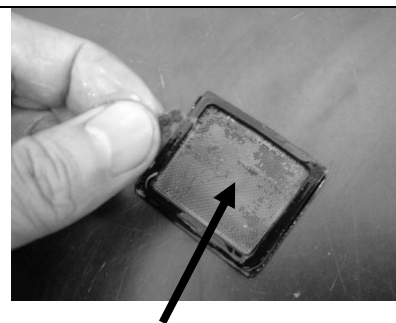
3-25 カムスプロケット取り付けボルトを規定トルクで締め付けます。

⚠注意
カムスプロケットの○マークとシリンダーヘッドの合マークが合っている状態で、正しく圧縮上死点の位置にピストンがいるか確認してください。合っていないままでエンジンを始動するとエンジントラブルを起こします。

3-26 タペットクリアランスを調整します。

3-27 シリンダーヘッドサイドカバー（右）、（左）およびタペットキャップを元どおり取り付けます。

4　クラッチの取り付け

オイルポンプ下部にあるストレーナ(金網)は必ずきれいにして組み立ててください。部品をウエスでふいた状態で組み込んだり、軍手で作業したりするとこのストレーナに糸くずがつまり、オイルが回らなくなってエンジンを破損させます。 潤滑系統のトラブルはエンジンに致命的なダメージを与えるので、定期的に掃除するようにしてください。	 ストレーナーに溜まったゴミを取り除きます。

4-1　手順 1-6 で取り外したクラッチユニットを、クランクシャフトに取り付けます。

⚠注意

クラッチユニット内部にあるフリクションディスクがハウジングの中心からずれていると、プライマリードライブギヤと正しくかみ合わず、クラッチレバーを操作してもクラッチが切れない状態になります。
プライマリードライブギヤがクラッチユニットに正しく組み立てられている事を確認し、クランクシャフトに差し込みます。
ロックナットは必ず規定トルク（35～45N・m）で締め付けてください。
ロックワッシャ（皿ワッシャ）は、” OUT SIDE” の刻印を外側に向けて取り付けてください。

4-2　ロックワッシャ、ワッシャー（表裏あり）を取り付け、ロックナットを規定トルクで締め付けます。その後、ロックワッシャのツメを曲げ、ロックナットの凹部に引っ掛けてください。

4-3　手順 1-4 で取り外したクラッチアウターカバーを元どおりに取り付けます。

4-4　ノックピン２個をクランクケースに取り付け、新品のクランクケースカバーガスケットを取り付けます。

4-5　クラッチアウターカバーの真ん中にオイルスルーが正しく入っているのを確認した

⚠注意

カバー裏側のプッシュロッドが脱落していないか確認してください。
キックシャフト部のオイルシールには、グリスを塗布してから組み立ててください。

4-6　Rクランクケースカバー取り付けボルトを規定トルクで締め付けます。

4-7　キックペダルを元どおりに取り付けます。

4-8　エンジン搭載後オイルを注入し、カムチェーン調整、オイル漏れの確認、クラッチ動作の確認をおこない、問題なければ作業は完了です。

株式会社 デイトナ　　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」
0120-60-4955 まで